

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

(園番号) No.601 (園名) 六条こども園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 職員会議等で年齢毎の発達の個人差を確認し合い、教育・保育要領と照らし合わせながら保育を研究し、実践に繋げる。	(1) ◎	教育・保育要領と照らし合わせながら、保育のみあいつこをしたり研究の振り返りをしたりすることができた。
		(2) 自己評価を実施し、自分自身の目標を立てて、計画的に自己の保育を振り返り保育の質の向上を図る。	(2) ◎	各職員が、保育に対する自分の課題を設けて、意識しながら保育を行い、保育の質の向上に努めた。
		(3) 保育カウンセラーや専門機関との連携による育ちの支援計画シート作成と実践を行い、専門性を高める。	(3) ◎	子どもの育ちを保護者と共通理解したり、専門機関と連携をとったりしながら、子どもの健やかな育ちを支えた。
		(4) 危険個所の点検、改善を日常的に行い、園舎内外の環境及び衛生管理を実施する。	(4) ◎	園舎内外の危険箇所の点検や改善、修繕などの対策を随時行い、安心安全な環境作りに努めた。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 職員間での教育・保育の知識や技術の共有及び協働を図る。	(5) ○	動画視聴や園内研修を通して、一人一人の子どもに合った支援や環境について考える機会をもち、共通理解できた。
		(6) 教育・保育要領や認定こども園に関する法令や制度、運営規定などを理解し、専門性の向上に努める。	(6) ◎	1号認定児の休暇や教育日数、保育時間など職員間で再確認を行い、新採用教員研修にも取り入れた。
		(7) 園内リーダー研修や認定こども園新規採用研修、中堅研修など職種や経験年数に応じた研修に参加する。	(7) ◎	オンライン研修を含め各種の研修に参加することで、多様な視点からの学びを得ることができた。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や日々の連絡帳で園と家庭での子どもの様子を情報交換し、子育ての悩みや不安解消に努める。	(8) ◎	クラス懇談や個人懇談などで、保育のねらいや子どもの姿、家での様子などを保護者と伝え合うことができた。
		(9) 就学に向けての情報共有や気がかりな子の個別計画に基づいた家庭との連携を推進する。	(9) ◎	小学校と連携を取りながら、園児の様子や就学に向けての情報共有を随時伝え合っていた。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を毎日行い、園行事(運動会・人形劇)への参加を呼びかけて、子育ての楽しさを実感できるよう支援する。	(10) ○	未就園の家庭にクリスマス会や人形劇の参加を呼びかけた。普段の園開放では、在園児と一緒に園での遊びを楽しんでいた。
		(11) 子育て支援委員と連携し、2、3歳児がにこにこ広場に参加したり園開放の親子を紹介したりする。	(11) ◎	未就園の子に声をかけ、にこにこ広場の活動を一緒に行うことができた。
		(12) 地域の子育て家庭に対する育児相談及び支援の充実を図る。	(12) ○	園見学の折には子育ての楽しさや疑問、悩みや質問に応えた。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を發揮します	(13) 健康管理センターやこども療育センターなど療育機関や医療機関との連携を図る。	(13) ◎	外部機関と連絡を取りながら、その子にふさわしいかわりかたや環境を探っていた。
		(14) 主任児童委員、子育て支援委員、青少年育成市民会議等と連携し、地域の実情を共有する。	(14) ◎	青少年育成市民会議の方と地域の安全について話し合い会議に参加したり交通安全教室に参加してもらったりした。
		(15) 六条小学校と園の職員同士が授業・保育参観等を通して、互恵性のある交流を行う。	(15) ○	保育カウンセラー訪問や指導主事訪問参加等を通して職員間の交流を図った。
	地域の教育・保育機能を強化します	(16) 園だよりを小学校や公民館に配布し、園児の様子や園の教育・保育の取り組みなどを知ってもらう。	(16) ◎	園だよりや子どもの学びの姿を掲載した『ろくじょうっこ通信』で園の教育・保育の取り組みを知らせていった。
(17) 月2回、公民館のにこにこ広場に参加し、おはなし会や地域の人との交流の機会を定期的にもつ。(2～5歳児)		(17) ◎	読み聞かせやふれあい遊びを通して地域の方と交流できた。	
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 足羽一中生との交流や六条小の1.2年生と5歳児との縦割り活動、ふれあいサロン等で異年齢や世代間の交流を図る。	(18) ○	足羽一中生や地域のお年寄りと世代間の交流を図ったり5歳児が小学校のマラソン大会や縄跳び大会に参加したりできた。
		(19) 地区の体育大会やふれあい祭りに参加し、地域住民にこども園を身近に感じてもらう。	(19) ◎	六条地区・小学校の体育大会やふれあい祭りに、4・5歳児が参加し地域の方に親んでもらった。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 地域ボランティアや子育てサークルの活動を把握し、子育て支援活動への参加のきっかけを広げる。	(20) ○	地域の子育て活動のちらしを掲示、配布して園から参加を呼びかけたり、地域ボランティアの方と交流したりできた。
		(21) 子育て委員会に参加し、地域の子育て家庭や地域資源、文化、環境について状況を把握する。	(21) ◎	委員会は開催されなかったが、子育て委員と連携しながら地域や園の状況の情報共有をした。
V 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) これからのこども園が求められる役割について研修に参加し、職員にも周知していく。	(22) ◎	附属幼稚園や私立園を含む他園の保育を参観したり、他園の研究発表を聞いたりできた。
		(23) これからの乳幼児の教育・保育制度について、見分を広め、研鑽していく。	(23) ○	研修や保育図書、厚労省のホームページなどで常に保育情勢についてアンテナをはっていきたい。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムを職員全員で共通理解して作成・実施し、評価をして次年度に繋げる。	(24) ◎	今年度の成果を全員で確認し、共通理解しながら次年度の課題を見つけ、取り組んでいきたい。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎:当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○:計画どおりに取組み、概ね目標を達成することができた。 △:不足する部分や問題があった。 ×:目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。